

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況[米国会計基準]

平成20年1月30日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部

コード番号 6645

(URL <http://www.omron.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長

氏名 作田久男

問合せ先責任者 役職名 経営資源革新本部 理財センタ長

TEL (075) 344-7070

氏名 春田正輝

(百万円未満四捨五入)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	557,790	9.2	43,193	5.5	44,061	△7.8
19年3月期第3四半期	510,781	17.5	40,952	△4.3	47,811	4.3
19年3月期	723,866	-	62,046	-	64,279	-

	四半期(当期)純利益		基本的1株当たり 四半期(当期)純利益	希薄化後1株当たり 四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	29,214	6.7	127 46	127 40
19年3月期第3四半期	27,372	4.6	117 72	117 65
19年3月期	38,280	-	164 96	164 85

(注) 米国財務会計基準審議会(FASB)基準書第144号「長期性資産の減損又は処分の会計処理」の規定に基づき、当第1四半期に非継続となった事業に関して、平成19年3月期および平成19年3月期第3四半期の数値を組替えて表示しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	634,638	399,748	63.0	1,755 73
19年3月期第3四半期	624,118	373,810	59.9	1,621 75
19年3月期	630,337	382,822	60.7	1,660 68

(注) 米国会計基準に従い、純資産、自己資本比率および1株当たり純資産は資本の部合計を用いて算定しています。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	40,727	△27,147	△19,142	38,440
19年3月期第3四半期	10,219	△34,069	21,896	51,011
19年3月期	40,539	△47,075	△4,697	42,995

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	15 00	19 00	34 00
20年3月期(実績)	17 00		
20年3月期(予想)		25 00	42 00

(注) 20年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前純利益		当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	775,000	7.1	65,000	4.8	66,500	3.5	42,000	9.7	184	08

上記業績予想に関する事項は、添付資料の9ページを参照してください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (4) 営業利益の表示について

連結損益計算書における「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。

[(注) 詳細は、10ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績見通しにつきましては、添付資料の9ページのとおり平成19年10月30日発表の数値から変更していません。業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(i) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii) 当社製品・サービスに対する需要動向、(iii) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv) 資金調達環境の大幅な変動、(v) 他社との提携・協力関係、(vi) 為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
2. 平成20年1月30日開催の取締役会において、会社法の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。(平成20年1月30日公表の「自己株式の取得に関するお知らせ」をご参照ください。)なお、「3. 平成20年3月期の連結業績予想」の基本的1株当たり当期純利益は、当該自己株式取得の影響を考慮しています。

(注) 添付資料において、事業の種類別セグメントの名称は次のとおり略して記載しています。

- I A B : インターストリアルオートメーションビジネス
 E C B : エレクトロニクスコンポーネントビジネス
 A E C : オートモーティブエレクトロニクスコンポーネントビジネス
 S S B : ソーシャルシステムズビジネス(ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネスカンパニーなどが含まれます。)
 H C B : ヘルスケアビジネス(オムロンヘルスケア(株)などが含まれます。)
 その他 : 事業開発本部およびその他の部門